

使用方法

※塗装が荒れている場合、ワックス・コーティング被膜が残っている場合は、付属の鏡面仕上用（下地処理用）コンパウンドを使用し①～⑥の順に作業を行なってください。それ以外の場合は②～③の下地処理工程は必要ありませんが、必ず①の洗車作業は行なってください。

- ①洗車をしてキズの原因となる砂・ホコリを除去し、水をふき取る（塗装表面がザラザラしている場合は鉄粉を除去してください）。
- ②付属の鏡面仕上用（下地処理用）コンパウンドをキャップが閉まっていることを確認してから、容器ごとよく振り、付属スポンジの黄色い面に液を適量取り、タテヨコ直線的に磨く。
- ③完全に乾燥する前に柔らかいきれいなタオルでふき取る（乾燥してふき取りにくい場合はタオルに水を含ませて固く絞ってふき取るか、またはカーシャンプーを用いて洗い流してください）。
 - * 大きな面積を一度に処理せず、ボンネット 1/3～1/4 程度の面積ずつ処理してください。
 - * 強く磨き過ぎると磨きあとが残ることがある。
 - * 磨き過ぎると下地が出ることがある。
 - * キズ・汚れ・塗装状態の程度によっては十分な効果が得られないことがある。
- ④Gガード プロ 本液の容器のキャップが閉まっていることを確認してからよく振り、付属のスプレーポンプを取り付ける。
- ⑤青いクロス（マイクロファイバークロス）に1～2回ブッシュし、ボディに塗布する（使用量目安：1～2回ブッシュで40cm×40cm）。
- ⑥乾燥する前に、塗りあとがなくなりツヤが出るまで塗り込む。
 - * 大きな面積を一度に施工すると液が乾き、ムラの原因になるので注意してください。
 - * クロスが湿ってくると仕上げにくくなるのでクロスに液が馴染んできたら液量を加減したり、クロスの使用面を適時かえてください。
 - * ボディに直接スプレーするとムラの原因になります。
 - * ムラ等の仕上がりが不良が発生した場合は鏡面仕上用（下地処理用）コンパウンドで除去してから再施工してください。
 - * 乾燥と同時に被膜を形成するので、塗りあとがなくなるまで（仕上がるまで）は液を乾燥させないように注意してください。
 - * 施工後、数時間は水との接触を避けてください。* 重ね塗りは数時間間隔をあけて行ってください。
 - * 液がボディ等に付着したまま放置すると白くなるので飛び散りには注意してください。

保管について

◇Gガード プロ 本液は被膜性が強いいため使用後スプレーポンプを付けたまま保管すると内部で液が硬化して次回スプレーできなくなることがあります。使用後は必ず保管用キャップに付け替えて、スプレーポンプは水洗いしてから保管してください。

水洗いの手順

- ①スプレーポンプを取り外し、ノズル内の液を全て排出する。
 - ②ノズル下部の液吸入部分を水に浸けてスプレーし、ノズル内部を水洗いする。
 - ③ノズル下部の液吸入部分を水から出してスプレーし、ノズル内の洗浄水を全て排出する。
 - ④スプレーポンプ全体を水洗いし、水気を切ってから保管する。
- ◇クロスは中性洗剤で洗い、陰干しで乾燥させてから保管してください。

使用上の注意

- * 用途以外には使用しない。
- * 換気のよい所で使用する。
- * 風の強い時や、砂・ホコリの多い所では使用しない。また、容器をボディの上に置かない。
- * ボディの塗装以外、プラスチック、未塗装の樹脂バンパーやドアノブ、ゴム、ガラス、レザー、レンズ部品、メッキ部品、ミラー、ホイール等には使用しない。付着した場合には、こすらず直ちにふき取る。
- * 再塗装や劣化した塗装、ポリマー加工車及び輸入車には使用しない（色落ちやシミ等の原因になることがある）。
- * シミになるので、衣服につけない。
- * 炎天下やボディ等が熱い時には使用しない。
- * 強くこすり過ぎると、塗装を傷めることがある。
- ★使用後はキャップをしっかりと閉め、石けんと水で手をよく洗う。

セット内容



- ・Gガード プロ 本液
- ・鏡面仕上用
マイクロファイバークロス
(コーティング剤塗布用クロス)

Gガード プロ 本液	
名 称	自動車用つや出しコーティング剤
用 途	塗装の保護及びつや出し
塗 装 塗 色	淡色、濃色のパール、マイカ、メタリック及びソリッド塗装
成分・含有量	被膜形成シリコン、ナノパウダー、シリコン系撥水剤、石油系溶剤(約10%)、乳化剤
形式・内容量	液体・200mL
耐 候 性 期 間	15ヶ月(当社耐候性試験)
警告 一般注意	※吸入飲用不可 :人体に害があるので吸い込んだり、飲み込んだりしない。*保護手袋等を使用する。*引火性があるので、火気に近づけない。*子供の手の届かない所に置く。
応 急 処 置	*万一飲み込んだ場合、吐き出させないで直ちに医師の診察を受ける。*誤って目に入ったり顔等に付着した場合、こすらず直ちに清水で充分洗浄し、異常があれば医師の診察を受ける。*皮ふに付着した場合、石けんで充分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受ける。*使用中に気分が悪くなった場合、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にする。気分が回復しない場合には、医師の診察を受ける。
保 管 及 び 廃 棄 方 法	*保管の際は保管用キャップをしっかりと閉め、直射日光が当たる所、温度が40℃以上となる所、夏期の車内、水・湿気が多い所、凍結する所には置かない。*廃棄の際は中身を使い切ってから捨てる。



- ・鏡面仕上用(下地処理用)
コンパウンド
- ・コンパウンド用スポンジ

鏡面仕上用(下地処理用)コンパウンド	
名 称	下地処理用コンパウンド
用 途	コーティング剤塗布表面の調整
塗 装 塗 色	淡色、濃色のパール、マイカ、メタリック及びソリッド塗装
成分・含有量	研磨剤、石油系溶剤(約40%)、乳化剤
形式・内容量	液体・95g
警告 一般注意	※吸入飲用不可 :人体に害があるので吸い込んだり、飲み込んだりしない。*保護手袋等を使用する。*引火性があるので、火気に近づけない。*子供の手の届かない所に置く。
応 急 処 置	*万一飲み込んだ場合、吐き出させないで直ちに医師の診察を受ける。*誤って目に入ったり顔等に付着した場合、こすらず直ちに清水で充分洗浄し、異常があれば医師の診察を受ける。*皮ふに付着した場合、石けんで充分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受ける。*使用中に気分が悪くなった場合、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にする。気分が回復しない場合には、医師の診察を受ける。
保 管 及 び 廃 棄 方 法	*保管の際はキャップをしっかりと閉め、直射日光が当たる所、温度が40℃以上となる所、夏期の車内、水・湿気が多い所、凍結する所には置かない。*廃棄の際は中身を使い切ってから捨てる。

鏡面仕上用(下地処理用)コンパウンド:
第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 火気厳禁

表示者及び所在地

株式会社リンレイ自動車製品部 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13

TEL. 03-3541-5955

ホームページ <http://www.rinrei.co.jp>

製品名「Gガード プロ」
MADE IN JAPAN 箱

